

今帰仁村の人口

昭和51年8月31日現在
男 5,524
女 5,526
計 11,050
世帯数 2,736

広報



なきじん

第 17 号

編集発行

今帰仁村役場
広報編集委員会
TEL 098056-2101
沖縄高速印刷
南風原村字兼城577
TEL(0988)32-5513



松田 幸福

松田幸福 現村長 三期連続 当選

農業優先、対話の行政を推進

八月一日に実施された本村の村長選挙は、松田幸福現村長が現職の強みを発揮して、対立候補の座間味邦夫氏に六百六十六票の差をつけて当選しました。過去八年間、平和で明るい豊かな調和のとれた村づくりを基調とした基理を、今後の四年の任期中に堅持しながら対話の行政を実施していくことを強調しています。

任期満了（八月二十日）の選挙が九二・〇九割を記録して、本村の村長選挙は、二日は開票日、午前八時半から村役場ホールで、有権者が約二百人が見守る中で、開票が行われました。開票が進むにつれて、現村長の松田幸福は、過去八年の実績と現職の強みを発揮して、午前十一時半、三千二百票の過半数を獲得、当選を決めました。開票場につめかけた松田候補の支持者たちは、思わぬ村長に選ばれることになった。



三期連続当選を支持者とともに喜ぶ松田村長(中央)

村長としての行政を行なうことを強調し、村政に対する決意を次のように述べた。過去八年間の村政では、農業の基盤整備、セリ市場の設置等、第一次産業である農業に力を入れてきた。海洋博にもよい、労働の高騰、投機的な土地買占めなど、農業を衰退させた。本村は純農業村であり、今日にわかに農業意欲も高まりつつある状況です。農業振興地域の指定を受けて、農業に力を入れていく。国がやるべき仕事を市町村がやっていると、市町村の財政は、負担が大きくなっている。その解消を強く求めた。

流通機構の整備を訴える 植木(沖縄) 長官初の来村

さる七月十九日、植木国太郎、沖縄開発庁長官が、松田村の沖縄農業振興センター（吉事地内）仲尾次園芸協同組合、北山城跡を視察しました。この視察は、同日海濱記念公園で開かれた故大友信泉氏記念像の除幕式に列席のため来村。その機会に本村の農業視察となったものです。同長官は、各視察地の説明にうなづき、特に仲尾次地内にある「スイカ」は一年中作っているのか、売れぬきはどうか、といふことを質問していました。

要望書

① 農業生産者基盤整備事業に伴う休耕地補償について
復帰後農業生産の増進と農家経営の近代化促進を計る目的で政府におかれましては、農業生産者基盤整備事業を強力にお進められたことは誠に時宜を得た施策であり、市町村も意欲的に取り組んでまいりました。然るに本事業は工事期間が長く、復旧後は国の財政需要の落ち込み等による

く要求してまいりたい。パイプ、サウキの般の価格の補償、地場産業の育成振興等により、自主財源の確立に努める。村民は平等だ、という政治理念で、村民のための村政に反映させたい。

幸福氏に 当選証書を交付

八月三日午後三時から、村長当選証書交付式が、村役場ホールで行なわれ、新当選村長松田幸福氏に、村政を推進する責任を託す。松田村長は「八年間の業績を基礎



有権者数	6,368人
投票総数	5,864票
投票率	92.09%
無効票	28票
有効投票総数	5,836票



かんがい施設の完備した仲尾次土地改良区を視察する長官(右から2番目)

61

李漁協

一括してヤリに出された子豚たち

初の盆まつり大会



老人と婦人で会場はうめつくし、盆のタペを盛り上げた

天底 青年 チームが一位

夏といえど、うだるような暑さで、ムギワラボウシ、ゆかたが思いだされます。このような暑さをふたとし、涼をよびもどしてくれるのが夏の風物詩盆踊りのようです。

さる八月十四日午後五時から、リンドウステーションにおいて、第一回今帰仁盆まつりが、村、青年会、婦人会、老人クラブ共催で開かれました。この盆まつりは、村民が一同に集い、長年生活と密着してきたロカル色ゆたかな盆踊り、地域づくりに寄与することをおもいたしたものです。会場には、三千名の観客が詰めかけました。趣向をこらし、色とりどりのうちわで飾られたやぐらの隅、まず老人クラブが、汗水節くば笠グワイ、ツツミミレーなどの曲目、観客の目を惹きました。婦人会は、花見音頭、ニッコー首頭で華麗な演技を披露。盆のタペに花を添えようとして、綿アメや花水を観客につぶれ目だった。

共催者を代表して松田珠大剣道部長が



四十七人の剣士でスタート

明い健康なスポーツとしての剣道普及と技術の向上を図り、且つ社会人と青少年との真実な出会い、つながりをより深めることを目的として、さる七月十日今帰仁小学校体育館で、今帰仁剣道教室（仲原武・室長）の開設大会がありました。

この教室は、本村でも青少年の剣道人口の増加、高校、中学でクラブ活動として剣道の採用など、年々

幸福実行委員長は「本村の盆踊り（七月モイ・エイサー）は、三百十年の歴史をもつ伝統的なもの。これを楽しく、いかにのぶこり、今帰仁の地づくりに輪を広げていきたい」とあ

また青年会主催のエイサー大会も催され、三チームが参加。①天底、②玉城、③地底の各青年会には、賞状と我部朝スボーツ、今帰仁ホテルからの記念品が贈られました。

定期点検整備が必要



自動車の使用は、道路運送車両法で定期点検整備の実施を義務づけられてお

一昨年から、夏休み、冬休みなど、たびあることに合同練習を重ねた結果、今回の開設の運びとなったのです。

今同教室に入門したのは、村内の小学四年以上から中学生までの児童生徒です。六月に入室志望者を募集。四十七人の剣士たちが、一同に会して出発することになりました。

開設大会を祝し本村体育会長（内閣）村助役は、

れています（第四九条）。定期点検整備は、自動車の安全の確保と公害防止の徹底を図るために、使用者に義務づけられたものであり、義務づけられたものでない実施されることによって、交通安全、交通事故の原因となる路故障が減少し、燃費率もよくなり、使用面はもとより機能の正常化による燃料、油脂等の運行経費が節減され、いつも整備されているため車検時に大きな整備の必要がなくなる

など経済的効果も大きくなります。

沖繩県陸運事務所では、自動車の使用者において定期点検整備が適正に実施されるようにするため、三月十五日から車検の際に定期点検記録簿の提示を求めるとして、提示される使用者には検査の合格を保留することになっています。

当所としては、自動車整備振興会を通じて各整備事業者に対し、受入体制に万全を期するよう指導し

ウツパマを清掃

夏になると海水浴客が一番多く、村民の浜として村民に親しまれているウツパマ（大浜）をきれいにしようとする七月十九日、護国老人クラブ（石川清一会長）により、ウツパマの清掃が行なわれました。

この清掃作業は、村が村内の観光地を調査した結果、ウツパマの各所にアカカンやビンなどが落ちており、きれいな観光地を維持するため、観光地美化のために護国老人クラブに協力をお願いしたところ、喜んでやりましようと同区老人クラブが心良く、お仕事を

直接指導にあたるのは、仲原武一、山内昌敏、古土仁賢、古波蔵藤、伊良波孝雄

各種証明は早目に自分で

印鑑証明、住民票、戸籍抄本などの各種証明書は、本人が取るようにします。緊急に必要とされ、他人に代わって取得する場合は、本人の同意と、本人の印鑑が必要です。

みだりに119番は禁物 救急車の正しい利用法

昭和三十九年四月一日現在、救急業務を実施している市町村は、全市町村の約九五%、人口割合で全国人口の約九五%を占めるに至っています。

昭和三十九年中における救急出件数は、百四十一万六千七百七十七件で、百三十八万六千八百六十八人が医療機関に搬送されました。このことは全国で一日平均三千八百九十件、約二十秒に一回の割合で救急車が出発し、国民の約七十一人

が、村としても従来から、住民の生命と健康を守るために災害等による事故防止の対策はもとより、救急体制の充実強化についても努力しています。

くさなければなりません。住民の方々も救急業務に対する正しい認識を持つ必要があります。

最近、一部で救急車がタクシー代わりに乱用された火災、水害、その他の災害



モシモシが変わりまし

教育委員会.....2647

消防(一般電話).....2151